

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」白山松任校			
○保護者評価実施期間	2025年11月22日 ～ 2025年12月13日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	4名
○従業者評価実施期間	2025年11月22日 ～ 2026年1月13日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 14日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童の特性に合わせて支援環境を調整しながら支援をすることができる。	・特性に合わせて個室とフロアを使い分けることができる。 ・高さを調整できる幼児用机を購入するなど環境を整えている。	今後とも支援に必要な用具を職員間で相談し、新たな支援具の購入も含めスペースを活用できりように工夫していきます。
2	保育士・心理職・作業療法士の3視点から支援を行っている。	様々な専門知識を有する職員が支援に入ること、多角的な視点で支援を提供することができている。	他の事業所の見学や研修への参加なども行いながら、自分たちにはない新たな知見を取り入れていき、支援の質を高めていきます。
3	相談員や市役所、保護者様同士のつながりからきらりを利用したいと思っていただけることが多い。	・毎支援時に丁寧なフィードバックを心掛けている。 ・発達段階や利用者様・保護者様の主訴に合わせた支援を行うことができている。	・相談員や他事業所との連携を深め、よりよい支援に繋がるようにしていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児発児童の支援に関して、安全面で配慮が必要な箇所がある。	放課後等デイサービス利用者も同じ施設を使うため、フロア内に体の大きい子に合わせた物も多く、児童発達支援時は安全に配慮しなければならない場面が多い。	・外階段を利用する場合は児童だけでの移動が行われないように気をつけていきます。 ・机などの点検をこまめに行い、不備にすぐに気が付くことができるような体制を徹底します。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」白山松任校

公表日 2026 年 1 月 24 日

利用児童数

6名

回収数

4名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	4					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2	1		1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4					
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3			1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1	2		1	・まだ数回の利用のため判断が難しいため。	・ご回答ありがとうございます。日々の成長が感じられるような活動になるよう継続した支援を提供できるよう努めてまいります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1	1	2			
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		2		2		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	4					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1	2		1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		1	1	2		

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1	1		2		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	1	2		1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1	2		1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。		2		2		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2	1		1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2	1		1		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	4					ありがとうございます。今後も利用者様が安心できる環境設定を行い、利用者様の成長につながる支援を行っていきたいと思います。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	4					ありがとうございます。今後も継続して「楽しい!」と思っていただけるように、支援内容を工夫していきたいと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	4					ありがとうございます。今後も利用者様の成長につながる活動を積極的に取り入れていきたいと思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こどもサポート教室「きらり」白山松任校		2026 年 1 月 24 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用者様一人に対し一つの個室を確保している。	希望された利用時間によっては、他の利用者様と利用したいスペースが重なってしまうことがある。利用者様の特性次第で別の利用時間を案内する必要がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基本的には1対1の支援を行っているが、必要と判断した場合は他職員にも声を掛けて、複数職員で見ることもある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			段差やトイレなどバリアフリーに向け改善する点がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			・カーペットを張り替え、より清潔にする必要がある。 ・トイレは児発の方向けとなっていないが、おまるや階段などを利用し、工夫して使用している。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個室が多く、利用者様の状況に合わせて使用することができている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		支援の中で気が付いたことを他職員にも共有し、多角的な視点から支援の見直しを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年1回評価アンケートを行い、改善に向け話し合っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・指導員の目線で改善したいと思う箇所は改善している。 ・意見等を伝えやすい環境に変わった。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による外部評価は行っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・会社として法人・法定・その他の研修が定期的に開催されている。 ・地域で行われている研修に積極的に参加するようにしている。社内研修のほかに、市や県の研修を職員に紹介している。	外部の研修については、チラシの張り出しなどを通して保護者様にも紹介していく。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		現在は児童発達支援管理責任者が配置されたため、今後は児童発達支援管理責任者の元、支援計画を立て、実行していく。	児童発達支援管理責任者不在の期間があったため作成できない月があった。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		現在は児童発達支援管理責任者が配置されたため、今後は児童発達支援管理責任者の元、支援計画についての見直し、検討を行っていく。	児童発達支援管理責任者不在の期間があったため作成できない月があった。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画の更新に合わせて担当者会議を開いており、それぞれの職員の共通理解のもと新たな支援計画を作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画の更新に合わせて担当者会議を開いており、それぞれの職員の共通理解のなかで支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		法人内で標準化されたツールを使用している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		児童発達支援ガイドラインに則り、五領域に沿った目標設定を行っている。	

援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	担当者会議を通して、相談員や他事業所との連携を行いながら必要な支援内容を考えている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	定期的なモニタリングや必要な時に話し合い、様々な職員の意見を取り入れている。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	基本的には個別の活動だが、リフレッシュ時には他の利用者様と関わる機会もある。	現状、小集団イベントを行うことができていないため、今後イベントを開催できるようにしていく。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	記録を読んだり前の支援に入った職員に直接聞くことで最新の利用者様の様子を把握してから支援に入っている。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	次に支援に入る指導員に引継ぎを行っている。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	毎回記録を記載し、次の支援へと繋げている。		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	月に1、2回会議を行い、話し合うことができています。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	担当職員や児童発達支援管理責任者が参加し、他の職員にその内容を共有している。		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	発達相談センターや相談員、医療機関、園、学校（就学時）等に情報提供を行いながら、児童の支援に活かしている。		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○		支援内容の情報共有はしきれていない。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○		保護者様を通して情報を共有することはあるが、事業所として積極的に行う機会はまだまだ少ない。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				児童発達支援管理責任者不在期間があったため、連携が途切れていたが、現在は配置されているため、今後連携の機会を作っていく。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		現在実施できていないが、今後企画していきたい。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・ 毎回フィードバックを行っている。 ・ 家族等の参加が出来る研修の機会や情報提供等は、声かけや提示をしている。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者様が支援の見学を行っていく機会が多い。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に必ず説明を行っている。		

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		ご利用者様やご家族の意見を尊重しながらサービスを提供している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		説明し、同意を得たうえでサインしてもらっている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・保護者様のご希望を受けて相談を受けたり、こちらから相談が必要と感じた保護者様にはお声をかけて相談をしている。 ・面談や日々の支援のフィードバック等で行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		・以前は保護者交流の場を作っていたが現在実施できていない。 ・最近はママカフェなど保護者様同士の交流ができるイベントを開催できていないので、今後また検討していきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		指導員も保護者様からの相談を受ける機会があり、校舎内で情報共有し、話し合った内容をお伝えしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		LINEを開設し、情報を流しやすくなった。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きのロッカーで管理している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		ご利用者様の保護者様や相談員さんからの情報をお聞きし、その方に合った配慮を行っている。	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	きらりひろばを行う際は、外回りでチラシを配布している。	地域住民を意識した行事は企画できていない。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			それぞれのマニュアル内容について保護者様と共有しきれていない部分がある。ブログなどを通して、安全対策面を把握していただけるよう工夫していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的（月1回）に避難訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		アセスメント時に保護者様に確認を行っている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		食事は提供していない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、必要な訓練を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			避難場所や緊急時の対応などを保護者様にも理解していただけるよう、今後周知を徹底していく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		報告・周知・回覧をしている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		社内外の研修に参加している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		やむを得ない場合はマニュアルの対応に従う。	